

高校第1学年 地理B学習指導案

単元名：東南アジア

授業者：教育学部 第二類 社会系コース 学生番号：B130435 氏名：渡邊亮太

○単元観

古くから農業が盛んな地域であるが、近年は工業化が進み、地域の姿も多様になっている。本単元では、民族や農業・経済成長などにおいて、地域の中でどのような違いがあるかに着目していく。

単元の目標と評価規準

単元の目標

- 東南アジアの諸地域の変容や構造、地域ごと特徴と差異を理解する。
- 資料を読み取ることで、社会的事象の事実を獲得する。

ア) 社会事象への関心・意欲態度	イ) 社会的な思考・判断	ウ) 資料活用の技能・表現	エ) 社会的事象についての知識・理解
東南アジアの民族、農業、工業の多様性を理解するために意欲的な取り組みがなされている。		事実を獲得するために正しく資料を読み取ることができる。	東南アジアの社会的事象について、歴史的背景や地理的要素を理解する。

指導と評価の計画

次	学習内容 (時数)	評価計画					
		関意	思判	技表	知理	評価規準	評価方法
1	多様な民族と文化 (1) 本時	○		○	○	A: 授業で獲得した知識同士の関係を説明的に理解することができる。 B: 授業で学んだ事実を理解できている。 C: 授業で学んだ知識を理解できていない。	テスト
2	東南アジアの農業地域 (1)	○		○	○		
3	ASEANの結成と工業の地域差 (1)	○		○	○		
4	変化するASEAN諸国 (1)	○		○	○		

本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ 東南アジアの国々は、多様な民族や宗教によって構成されていること理解させる。
- ・ 東南アジアが多様な国々では、それぞれの国の背景に応じて、優遇政策や民族融和政策が取られていることを理解させる。

(2) 観点別評価の規準

- 知識・理解：東南アジアの民族構成や各国の政策について理解する。
- 資料：資料を正しく読み取り、事実を獲得することができる。
- 関心・意欲・態度：東南アジアの国々について意欲的に学習できている。

(3) 準備物：教科書・資料プリント（配布）

(4) 学習の展開

	発問・指示	資料	活動	学習内容	評価規準	評価方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ この写真からどのようなことがわかるだろうか。 ・ 東南アジアにはどのような言語や宗教の人々が暮らしているだろうか <p>◎このような多民族国家では、どのような政策が取られているだろうか。</p>	教科書 p199 ③ 教科書 p201 ③	T：発問 P：考える T：発問 P：資料読み取り	様々な服装の人がいる頭にベールを被っている人や被っていない人がいる。 一つの国家の中でも、仏教・イスラーム教・キリスト教・地域宗教などがある。		
開	<ul style="list-style-type: none"> ・ マレーシアにはどのような人々が暮らしているだろうか。 ・ マレーシアの憲法にはどのようなことが書かれているだろうか。 	資料① 資料②	T：発問 P：資料読み取り T：発問 P：資料読み取り	ブミプトラ（マレー系と先住民）66%、中国系26%、インド系8% マレーシアの憲法は、「マレー人およびサバ州とサラワク州の原住民の特別な地位を守ること」が定められており、 ① 公務員職の採用 ② 政府の奨学金・訓練の付与 ③ 公共事業や政府調達 ④ 政府の許可・ライセンスの付与 についてマレー人およ		

	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にはどのようなことだろうか。 ・ではマレーシアではマレー人がほかの民族を支配し、裕福に暮らしているのだろうか。 ・この表から、1970年のマレーシアの国民所得について、どのようなことが読みとれるか。 ・格差を是正するためにどのような政策が行われただろうか。 ・すでに制定されていた憲法と何が違うのだろうか。 	<p>資料③</p> <p>資料④</p>	<p>T：発問 P：資料読み取り</p> <p>T：発問 P：考える</p> <p>T：発問 P：資料読み取り</p> <p>T：説明</p> <p>T：発問 P：資料読み取り</p>	<p>び先住民に合理的な割合が与えられる。</p> <p>すべての新しいタクシー営業車の許可発行は、各州のマレー人比率と等しくなるまで、マレー人に発行している。</p> <p>1970年ブミプトラ系住民と中国系住民とは大きな経済格差がある。 ⇒政治的にはマレー人が支配しているが、経済的には中国系住民の方が優位である。</p> <p>新経済政策（NEP）が導入された。</p> <p>従来と異なる点は、マレー人を支援することが明白に表明された。 ① あらゆる業種および・職種・職階において種族別人口比を反映した雇用比率を達成すること ② マレー人およびその他ブミプトラが、20年間のうちに全ての商工業活動の少なくとも30%を資本が所有し、経営すること などが目標に設定されている</p>		
--	---	-----------------------	--	---	--	--

	<p>・マレーシアの国民所得はどのように変化しただろうか。</p> <p>○マレーシアではどのような政策がされていると言えるだろうか。</p> <p>・シンガポールではどのような政策が行われているだろうか。</p> <p>・シンガポールにはどのような民族が暮らしているだろうか。</p> <p>・シンガポールでは中国系が多数派であるが、多数派の優遇政策が取られているのだろうか。</p> <p>・これらの資料からどのような政策が取られていると考えられるだろうか</p> <p>・ほかにどのような政策が行われているだろうか。</p>	<p>資料④</p> <p>資料⑤</p> <p>資料⑥、⑦</p>	<p>T：発問 P：資料読み取り</p> <p>T：発問 P：考える</p> <p>T：発問 P：考える</p> <p>T：発問 P：資料読み取り</p> <p>T：発問 P：考える</p> <p>T：発問 P：資料読み取り</p> <p>T：発問 P：考える</p>	<p>2007年にはブミプトラ人と華人の経済格差が以前よりは解消された。</p> <p>マレーシアでは、多数派であるマレー人が政治的に支配しており、経済的に有利な中国系住民との格差を是正するために、新経済政策を代表とする、ブミプトラ政策によって、マレー人優遇政策が取られている</p> <p>中国系 74%、マレー系 13%、インド系 9%、その他 3%</p> <p>言語面では、英語・華語・マレー語・タミル語の4つが公用語として採用されている。宗教面では、憲法で信仰の自由が保障されており、国民各々が宗教祭事に参加できるように祝日が設けられている。</p> <p>シンガポールの公営住では入居者の比率が一定地域ごとに、国民全体の民族比率と同程度になるように配慮され</p>		
--	---	------------------------------------	--	--	--	--

	<p>・この政策によってどのような効果が得られるのだろうか。</p> <p>○シンガポールではどのような政策が行われているのだろうか。</p>		<p>T：発問 P：資料読み取り</p>	<p>ている。</p> <p>日常生活において同一民族・言語・宗教をバックグラウンドとする者同士の排他的なコミュニティの形成を防ぎ、異なる民族・言語・宗教をバックグラウンドとする者同士の交流をはかる。</p> <p>様々民族に配慮した、民族融和政策が行われている。</p>		
終結	◎このような多民族国家では、どのような政策が取られているだろうか。		<p>T：発問 P：考える</p>	<p>多民族国家では、多数派などの一部の民族の様々な活動を奨励する優遇政策や、多数の民族を統合するための、融和政策が取られている。</p>		

資料一覧：

- ① 東京法令『新編地理資料集 2010』p236 表
- ② マレーシア憲法 153 条
- ③ 堀井健三『マレーシア村落社会とブミプトラ政策』論創社 p13 表
- ④ 小野沢純『ブミプトラ政策 多民族国家マレーシアの開発ジレンマ』マレーシア研究第 1 号 (2012 年) p15 表
- ⑤ Clair Report No.423(Jun 22 ,2015)『シンガポール民族融和・多文化共生政策について』(一般) 自治体国際化協会 シンガポール事務正 p6 図
- ⑥ 同 p9 写真
- ⑦ 同 p10 写真, 図

板書計画

<p>単元：東南アジア</p> <p>1. 多様な民族と文化</p> <p>・東南アジアには様々な言語や宗教の人々が暮らしている。</p> <p>⇒1つの国の中にも多様な民族が暮らしている。</p> <p>多民族国家ではどのような政策が取られているか？</p> <p>[マレーシア]</p>	<p>○マレーシアでは多数派であるマレー人が政治的に支配しており、中国系住民との格差を是正するためにブミプトラ系住民優遇政策が取られている。</p> <p>[シンガポール]</p> <p>(民族)</p> <p>中国系 74%</p> <p>マレー系 13%</p> <p>インド系 9%</p>
---	--

<p>(民族) ブミプトラ (マレー系と先住民族) 66% 中国系 26% インド系 8% ・様々な面でブミプトラ系住民を優遇 ・しかし経済面では中国系が優位 ⇒新経済政策 (NEP) へ</p>	<p>その他 3% 公用語：英語、中国語、タミル語 憲法で信仰の自由を保障 ○様々な民族に配慮した、民族融和政策が行われている。 ◎多民族国家では、特定の民族を優遇する政策や、多数の民族を統合するために融和政策が行われている。</p>
--	---

資料② マレーシアの憲法

<p>[マレー人およびサバ州、サラワク州の原住民のための公務員、諸許可等の割当の留保] 第153条 (1)最高元首は、本条の諸規定に従い、マレー人およびサバ州とサラワク州の原住民<Malays and natives of any of the States of Sabah and Sarawak>の特別な地位<special position>、およびその他の種族の正当な利益等<legitimate interests>を守ることを、自己の責任とする。 (2)最高元首は、本憲法中のいずれにもかかわらず、第40条および本条の諸規定を条件として、本憲法および連邦法律にもとづく自己の職務を、以下の諸事項を行なうために必要な方法で、遂行するものとする;マレー人およびサバ州とサラワク州の原住民の特別な地位を守ること;公務員(州公務員は除く)の職、また連邦政府が与える奨学金、学校給費、その他教育上あるいは訓練上の特権、あるいは特別の施設など、また連邦法律により何らかの取引または事業の運営に許可あるいはライセンスが必要な場合は、同法および本条の諸規定を条件として、かかる許可あるいはライセンスなどにつき、最高元首自らが、合理的と見なす割合を、マレー人およびサバ州とサラワク州の原住民のために留保することを保障すること。 (3)本条の(2)に従って、公務員の職、奨学金、学校給費およびその他の教育上あるいは訓練上の特権、あるいは特別の施設などをマレー人およびサバ州とサラワク州の原住民にも留保することを保障するため、最高元首は、本憲法の第10部が適用されるいずれの委員会、あるいは以上のような奨学金、学校給費、124またはその他の教育上あるいは訓練上の特権、または特別の施設などの交付を取り扱ういずれの当局に対しても、当該目的に必要なとされるような一般指示を与えることができる。かくして同委員会あるいは当局はこの指示に正しく従うものとする。</p>

資料①：マレーシアの民族構成



資料③

表1 州別にみた1958～68年の新規タクシー営業許可証のマレー人に対する発行状況

州名	タクシー営業許可発行総台数(1958～68年)	マレー人の占める割合		
		許可台数	目標率(%)	達成率(%)
ジョホール	1,045	492	48.0	47.1
マラッカ	404	251	49.2	47.1
ヌグリ・スンビラン	334	157	41.6	47.0
スランゴール	763	289	28.8	37.9
ペラ	790	366	39.7	46.3
ペナン	232	83	28.7	35.8
クダ	360	243	67.8	67.5
プルリス	64	44	78.4	68.8
クランタン	223	190	91.6	85.2
トレンガヌ	121	102	92.2	84.3
パハン	156	102	51.3	65.4
合計	4,492	2,319	49.8	51.6

(出所) Malaysia, "Laporan Atas Pelaksanaan Usul": Konggres Ekonomi Bumiputra Pertama" [第1回プミプトラ経済会議における諸提案の実施状況に関する報告], 第2回プミプトラ経済会議への提出論文, Kuala Lumpur, 1968年, pp.56-57.
(注) 許可証発行台数のうちには個人営業用のほかに他人に貸して営業するタクシーの台数も含まれている。

資料④

表3 プミプトラ政策の実績 (1970～2000年代)

< A: 民族別世帯月額収入 > 単位: リンギット, % (プミプトラ=100)

	1970年	1990年	2000年	2007年
プミプトラ	172 (100)	931 (100)	1,984 (100)	3,156 (100)
華人	394 (224)	1,592 (171)	3,456 (174)	4,853 (154)
インド人	304 (177)	1,201 (129)	2,702 (136)	3,794 (120)

資料⑤



資料⑥

図2・Feedback ページ (<https://www.reach.gov.sg/Feedback.aspx>)



資料⑦

図3・シンガポールの祝日一覧（日付は2014年のもの）

祝日	日付	概要
New Year's Day	1月1日	元旦
Chinese New Year	1月31日/ 2月1日	旧正月、中華圏で最も重要とされる祝祭日
Good Friday	4月18日	キリスト教で最も重要とされる復活祭（Easter Sunday）の前の金曜日
Labor Day	5月1日	労働者の日（メーデー）
Vesak Day	5月13日	釈迦の誕生祭
Hari Raya Puasa	7月28日	ラマダン（断食）明けを祝うイスラム教最大の祭り
National Day	8月9日	独立記念日
Hari Raya Haji	10月5日	メッカ巡礼祭、イスラム教の祝日
Deepavali	10月22日	ヒンドゥー教徒の正月で、ヒンドゥー教最大の祭日
Christmas Day	12月25日	キリストの生誕を祝うクリスマス



図4・シンガポール国内の各宗教施設の様子

左・セントアンドリュース大聖堂…東南アジア最古のイギリス国教会聖堂

右上・スリマリアマン寺院…シンガポール最古のヒンドゥー教寺院

右下・サルタンモスク…1824年に建築され、アラブストリートの象徴となっている